

三杯谷の滝 龍馬も横目に！



坂本龍馬脱藩の道沿いに、「三杯谷の滝」があります。この滝は、封事ヶ峠を下った三杯谷という集落のはずれに、文字どおり位置しています。

今年十月には、脱藩の道からこの滝に向って約七十Mの遊歩道が整備されました。龍馬はこの滝に気づいていたでしょう。滝の水で喉を潤しながら、にぎり飯でもほおばったでしょうか。それとももうそろそろ、紅葉が「三杯谷の滝」をいつそう引き立ててくれる頃です。あなたも龍馬になつてみませんか。

かわべ

'90 10 月

発行

河辺村公民館

☎ (0893) 39-2111

内線 205・206

佐川印刷 KK

吉田町北小路

☎ (0895) 52-0600

人のうごき

(平成2年10月1日現在)

世帯数 569 戸

男子 860 人

女子 859 人

計 1,719 人

H元.10.1~1,750(△31)

S63.10.1~1,796(△77)

S62.10.1~1,839(△120)

S61.10.1~1,882(△163)

S60.10.1~1,938(△219)

やねばし

今の家庭には、親子をはじめ対話が少ないのではないだろうか。

親はなにか事があれば、途端に子に問いかけ、詰問攻めにし、更に

関係がおかしくなる。そしてうちの子にかぎってとか、子供がわからないとかすぐ結論を出し、親が子を分かってやろうとしない。いわゆる「対話」ができないのではないだろうか。

親が言えば子が怒る。子がいえば親が逃げまどい、子を分かってやろうとする余裕がない。対話イコール説得ではなく相手の意見や感じ方の違い、距離をわかりあうのが対話ではないだろうか。

話し合うことによって、相手と自分の相違が分かり、輪郭が見えてくる。本当に自分のことを心配してくれているんだなと感じてくれたら、後はどう相手が対応してくるか待つのも大切なことである。急いで一方的に自分の考えを押しつけ、答えを求めてくる。インスタントラーメンと言っても三分待たなきゃ食べれないといひます。(佐)

(とじて保存しましよ)

恒例「ふるさと祭り」

♪里帰り客と共に楽しむ♪

恒例になった夏のイベント「ふるさと祭り」がお盆の八月十四日、ふるさとの宿広場を会場に催され、里帰りの人々がひとときを目だつ中、村の人口を上回る観客でにぎわいを見せました。

午後三時から夜市、カラオ

ケ大会予選がスタートし、十二名の予選出場者が特設ステージの上でそれぞれ熱唱し、そのうち五名が選抜され

て決勝進出、プロ歌手の三船和子さんと橋耕治さんが厳しく審査する中で、五名がふたたび歌唱力を競い合った結果、大洲市の清水照義さんが今年のチャンピオンに輝き、大きいトロフィを手にしました。

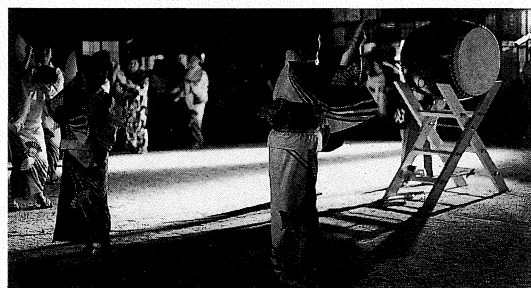
また今回は、津軽三味線&伊予水軍太鼓の競演があり、威勢のいい太鼓の音が山々に響きわたり、いっそう祭り気



～カラオケ大会入賞者の面々～



～多勢の観客でにぎわいました～



～優雅な舞にうっとり～

分が高まった頃、注目の歌謡

ショーに移り、橋耕治さんと三船和子さんが演歌をたっぷり披露し、プロの貫禄を十分に

に見せ観客を魅了しました。

祭りのフィナーレは納涼盆おどりで扇子おどり、河辺音頭など踊って、真夏の一夜を村内外の人々と共に楽しみました。

カラオケ大会の入賞者は次のとおり。

最優秀賞「女の夜明け」

清水 照義（大洲市）

準優秀賞「群青」

久保真喜男（松山市）

熱演賞「出船恋唄」

森岡 千景（肱川町）

熱演賞「麦畑」

本田 英一（草津市）
本田 ますみ（〃）
熱演賞「女の舞い」
福岡 明子（双海町）

「おれ」

今年も「ふるさと祭り」が皆さまの御支援、御芳志をいただき、村あげての一大イベントとして盛り上がりを見ることができました。

祭りの準備から片づけに至るまで、それぞれの立場で、さまざまな御協力をいただきましたおかげで、盛況の内に終了しましたこと誠にありがとうございました。なお、今後も活力ある郷土づくりをめざして邁進いたしますので、より一層の御支援をお願いいたします。

（大会長大野富士男）

高齢者教室

高齢者の健康づくりと生きがいづくりを考える場として、今年度の高齢者教室が九月二十五日、老人福祉センターにおいて四十六名が出席し開講されました。

まず、本山保健婦が出席順に血圧測定などの健康相談に



～村長の話に耳を傾けるお年寄～

応じ、開講式につづいて「村行政の現状と課題」というテーマで大野村長から講話をいただき、終了後に受講者から質問や意見が活発に出て、地域づくりに対する熱意にあふれていました。

またおりしも、秋の交通安全運動期間でもあり、稲田巡查部長から「高齢者の交通事故と特徴」についてわかりやすく指導いただき、第一回目を終了しました。

なお、今年度の年間計画は四回の予定で、関心のある健康問題、人権問題、世代間の交流、地域づくりなどを共に考え、ボランティアによる実践をしていこうと、リーダーたちはハリキッています。

第二十六回 村民運動会

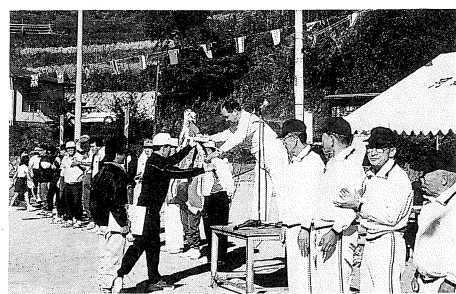
スポーツの秋 優勝 坂本 二年連続

スポーツの秋、各分館の老若男女が一堂に集まり、第二十六回村民運動会が十月十日（体育の日）、河辺中学校グラウンドにおいて開催され、終日たのしく、なごやかな雰囲気

で快い汗を流しました。河辺小学校の鼓笛隊九十一名が先導する中、前年度十三年ぶり優勝の坂本分館を先頭に各分館選手団が入場しました。

大野喜久雄運営委員長の開会宣言の後、大野富士男大会長のあいさつ、松尾明議長から激励の言葉をいただきました、坂本分館樽井優選手の力強い宣誓で競技を開始しました。

今年も最後までどの分館が優勝するか予想もつかない接戦で、植松、坂本、大伍分館の三つ巴となり、後半戦までもつれ込んだが分館対抗リレーが終わった時点で、植松、坂本分館の決勝戦を綱引きで行なうことになりました。綱引きでは、昔から大伍が強く、植松は苦手という伝



～優勝旗を受け取る宮本分館長～

説的なものがあります。その伝説は、今年もあてはまり、結局、坂本は昨年優勝という波にのり三勝、植松は坂本、大伍に負け一勝二敗となり、第二十六回村民運動会は、昨年に引き続き坂本分館が優勝旗を手に入れました。

昭和五十三年からの記録をみると、三年連続優勝をしている分館はありません。来年坂本分館の猛威にストップをかけるのは、どこの分館か？はたまた、三年連続の優勝となるのか？楽しみです。

祝 成人

ふるさとを離れて

ふるさとを知った

河辺村基幹集落センターに於て、八月十四日成人式（主催河辺村）が行なわれた。対象者は、昭和四十五年四月二日～四十六年四月一日生まれの者で、平成二年度の成人者は三十二名、内十七名が出席した。

式典は午前十時に始まり、成人者の氏名発表、成人することの宣言が行われた後、アルバムや愛媛新聞社発行の「お誕生日新聞」が記念品として贈られ、大野村長が式辞で「皆さんは法律的にも貴重な権利と義務が与えられた。今後は社会人として基本的教養を身につけ、自己の行動に責任をもち将来への道に邁進してください。」と激励。又、河辺村議会議長松尾明氏と河辺村教育委員長矢野清盛氏より激励の言葉があり、成人者を代表して樽井彰さんが、「戦後の安定した時期に生を受け、平和な社会、恵まれた



～ご成人おめでとう～

環境の中で成長してきた事は皆様方のお陰であり、ふるさとを離れて初めてふるさとの美しさ、人の心の温かさを知った。権利と義務を与えられた公民として教訓を肝に銘じ、わが村を忘れる事なく努力します。」と述べ式典を終り、懇親会に移り成人者全員が自己紹介で勤務状況や将来の抱負を述べ、皆久しぶりの再会を喜び合っていた。「ふるさとはいいなあ。」と昔話に花が咲いていた。

秋の交通安全運動

九月二十一日～三十日の間、全国一斉に秋の交通安全運動が実施されました。この運動の目的は、県民一人一人に、交通安全意識を普及し、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることにあります。

本村においても、この一環として、安協河辺支部、交通指導員の方々により、交通茶屋、カーブミラーの清掃、道路の消えかけているラインの補修を実施しました。

村民の皆さん、交通ルールを守り、交通安全を心がけ、事故にあわないよう注意しましょう。



～ごくろうさまです～

民俗資料館 再出発

昭和五十四年八月に元の大伍小学校校舎（五十二年廃校）を活用して開館していた民俗資料館は、「ふるさとの宿」に生まれ変わることになり、六十二年九月に休館した。従来の展示物は、養蚕組合の倉庫に保管され、一般の目に触れることはなかった。

平成二年三月に小学校統合により、北平小学校が廃校になったため、校舎の一階の教室、職員室など四室を利用し九月から開館している。

米麦作り、生活用具、生業、特産・特殊業の四コーナーに分け、各種民俗資料計五百六

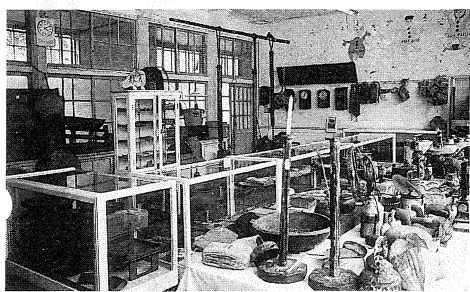


～元北平小学校で再出発～

十四点を展示している。立木式の木ろう製造機は、明治時代以前の製ろう法を伝える貴重な物である。また、唐箕、鋤、鍬などの農機具や馬具、食器、古文書など昔の生活をうかがうことができる。

開館は、午前八時三十分から午後五時までで、河辺村民館または、管理人の山本カシ子氏（☎三九・二九四六）で受け付けています。

また、この資料館の二階の四つの教室は、それぞれ北平地区の分館、婦人会、老人会、若草文庫の皆さんが利用している。



～色々なものが展示されています～

国民文化祭・愛媛 90

第5回



十月十九日～十月二十八日の間、第五回国民文化祭が愛媛県で行なわれました。これに伴い、県下五カ所で採火された「文化の火」が十月十三日～十九日の間、県下全市町村をリレーされました。



～河小児童によるパレード～

河辺村へも三崎町で採火された「白亜の火」が五十崎町を経由して役場前に到着しました。引継ぎセレモニーでは、

「白亜の火」が五十崎町助役から河辺村の田中助役に引継がれ、佐伯範男文化協会長へ託され、つづいてキャンペーンガールより河辺小学校児童へ記念品が贈られ、リレーが開始されました。河辺小学校児童九十一名によるリズムカルな鼓笛演奏にのって、「白亜の火」は沿道の観衆に見守られながら、次なる引継ぎの町、肱川町へ向かいました。この「白亜の火」は、他の「文化の火」と共に一つに集められ、点火台に点火し、国民文化祭の期間中燃やし続けられました。

大健闘 やったぜ バドミントン女子

愛媛スポーツ・レクリエーション祭'90八幡浜地方大会が九月三十日と十月四日（軽スポーツ）の二日間、内子町で会場に行われました。

九月三十日の大会に出場するためには、喜多郡大会において、三位以上の成績でなければなりません。バドミントン女子は、ここ数年二位という好成績で出場権を手に入っていました。

昨年までは、一回戦突破を目標にしておりましたが、なんと今年は、いきなり優勝、そして、県大会（愛媛スポーツ祭'90）出場を手にしたのです。選手たちは、疲れのせいもあってか、ただ茫然としているだけで、自分たちの成し遂げた快挙を実感することができず、喜びを表現する術を忘れていました。

県大会は、十一月四日松山商業体育館でバドミントンの試合が行なわれます。十月四日に開催された軽スポーツには河辺から、クロッ



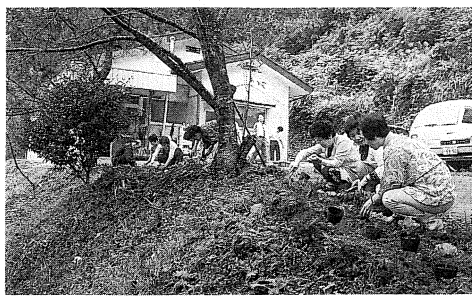
～次は、県大会だ～

ケー三チーム、インディアカ二チーム、ターゲットバードゴルフ二名、合計二十一名が参加し、快い汗を流しました。

きれいに咲いてネ!!

花いっぱい

平成二年度移動花づくり教室が九月二十八日第三区集会所において行なわれ十五名が出席しました。当日は八幡浜地方局大洲出張所、大洲農業改良普及所から見え、「草花の育て方」についての講義があり、種子と苗の選び方、土づくり、草花の種類、苗づくり、植付け、水やり、病害虫の発生予防と防除について受講しました。球根の保存には下駄箱などが適していること、草花の種子によつては一年から十年の寿命の違いがあること、小さい種子をまく場合に調味料入れ等を利用するとまきやすいこと、球根の選び方として肌がきれいで堅く大きいものがよいこと、植付けは深植えは活着が悪いこと、土づくりの目やすとしてアジサイを植えてみるとよいこと、いろいろ勉強になりました。



～ 早く大きくなれ～

ラ、五色トウガラシを集会所の庭やプランターに植付けました。お正月にはきれいなハボタンで庭を飾ってくれることでしょう。

まず花づくりは土づくりが大切であることを学びました。山にはこれから落葉がたくさんできますので、あなたも腐葉土づくりをして、花をいっぱい咲かせませんか。

城川町の国道にはたくさんの花が咲きみだれ、道行く人の心までもなごませてくれます。町ぐるみで花づくりに取り組み、素晴らしい町づくりがなされています。

役職員等紹介

☆教育委員（十月一日）

委員 戸田 薫明

☆文化財保護審議委員

（十月二十日）

大森 高知 船田 正路

梅木 廣信 岡林 寛

智葉 佳明 佐伯 範男

右の方が任期等により就任されました。よろしく願います。

お知らせ

第五回産業文化祭

◇とき 十一月十五日（木）

◇ところ 村公民館・集出荷

場・老人福祉センター

◇内容

●展示コーナー

書道・絵画・短歌・木工・

陶芸・趣味の作品等各種

●催物コーナー

音楽発表会・文化協会発表

会・お楽しみ抽選会・婦人

会バザー・ふるさと市・も

ちまき等多数

「知恵と技生かして築こう

イキイキ河辺」をテーマに、

村民総参加の理想をめざして

催します。

皆さんの積極的な御参加をお願いします。

河辺村のニュースは時折紹介され、懐しく楽しませていただいております。

目ざましい社会の進展に伴い、社会の情勢の変化により、一年も立てばもはや情勢は変わる時代であり、村におかれても時代とともに即応した施設が整備され

るとともに、イベントが計画され、村の発展がはかられ、目ざましい村づくりがなされております。

ふるさとに望む

松山市 二宮 孝

（三久保出身）



力により、今年四月新校舎での出発がなされ、誠に改めてたい限りで心より喜び申し上げます。今後は、二十一世紀を担う立派な人間創造の学び舎として大きく機能するでしょう。

近年農業を取り巻く情勢は次第にきびしく、輸入の自由化等農林産物の価格は低迷をたどり、農家経済を圧迫しております。この様な中で

ふるさと生活館の完成により、生活に直結した施設で生活学習及び研修等広く活用され、手づくりの食生活の良さが村全体に広がりを見せるものと期待されます。

統合河辺小学校の完成は、歴史にのこる大事業であり、完成に至る道のりは、困難な諸問題を伴い大変だったと拝察いたします。行政関係者と各校区下の皆様の深いご理解とご努

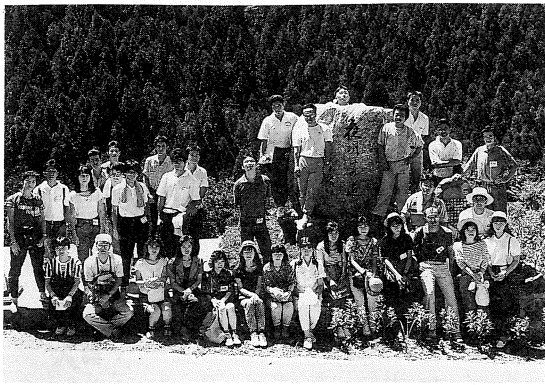
めを期待いたします。終わりに、テーマに関係なく、まとまりもなく乱文ですがご了承下さい。河辺村の限らない発展と、皆様のご健勝ご多幸をお祈り致します。

忘れられない出会い

明日を夢みる現在進行形!!

去る八月十九日にふるさと
の宿において「夢を育む会」
主催の交流会が開催されまし
た。

東宇和郡の艶やかな女性十
四名に黒く群がる喜多郡、松
山市等の元氣ハッキリ男性二
十二名。初対面で少し強張っ
た表情。それではと一策。日本
で初の新婚旅行をした熱き恋
愛の師、坂本竜馬が脱藩した
夜明けの道を歩きました。道



～ ツーショットはいかに? ～

「時間よ、止まれ。」
と祈りたくなるほど日
は暮れ、そして「楽し
かったね。」「また参
加します。」という言葉
があちこちで聞こえて
きます。この時、改め
てこの企画の意味の深
さに気付きました。出
合いの場がいかに大切
か。今後とも「夢を育
む会」は現在進行形
で、明日を夢見ます。

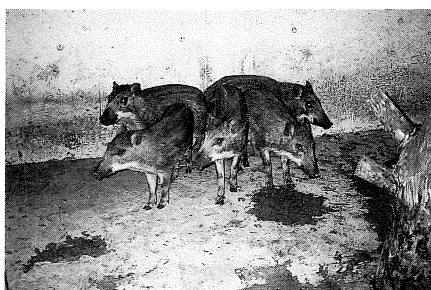
中自己紹介をし合ったりして
時間を重ねていくうちに、い
いムードになってきました。
さて、興奮の冷め止まぬ内
に次なるとっておきの切り札
は、バーベキューを囲んでの
ツーショット。やっぱりこれ
が一番でした。みんな思い思
いの人と話したり、口説き口
説かれビートは最高。カラオ
ケでは、二人の甘い歌声がせ
みの鳴声を消すかの様に山の
端遠くまで聞こえて
いました。

わらじで歩こう脱藩の道

九月九日(日)に
近代日本の礎となっ
た坂本龍馬の偉業を
しのぶとともに、自
然に親しみながら心
身の健康増進を図る
健康ウォーク「第二
回わらじで歩こう坂
本龍馬脱藩の道」が
開催された。
松山や高知などか
ら百五十四人が参加
し、竹製水筒、わら
じ、おにぎりを持つ
て、秋の気配の増す
榎ヶ峠から泉ヶ峠ま
での約十五キロメー

“ぼたん鍋 ふるさとの宿新メニュー”

第三セクター「ゆゆうとび
あ河辺」(大野喜久雄代表取締
役)は、このほど、ふるさと
の宿附近にイノシシ飼育舎を
建設。イノシシ十二頭を購入
し、本格的な飼育を始めた。
アメノウオ、キジに次ぐ村の
特産品にと、今秋から「ふる
さとの宿」で、ぼたん鍋とし
て売り出します。
また、キジのくん製も本格
的に製造に入りました。百グ
ラム五百円(一羽三、五〇〇
円、五、〇〇〇円)です。



～ いのししの飼育舎内 ～



～ 龍馬に近づきました? ～

トルの「夜明けの道」を踏みし
め、幕末の時代にこの脱藩の
道を駆け抜けた坂本龍馬の偉
業をしのんだ。

みんな輝いていました!

統合河辺幼稚園、
小学校「第一回秋季
大運動会」が、十月
十四日開催された。
子供たちの徒競
走、バラエティ走、
団体競技、ダンス等
をはじめ、鼓笛パ
レード、楽しい一輪
車、地区対抗リレー。
PTAの綱引き、
対抗リレーに、お年
寄り種目と宝ひろ
い。最後は河辺音頭
をみんなで踊り、地域あげて
のすばらしい運動会でした。

結果

○優勝 白組

○地区対抗リレー優勝

(児童) 大伍地区

(PTA) 植松椋谷地区



～ 統合はじめての運動会 ～

敬老の日記念式典

お年寄りご満悦

去る九月十五日敬老の日記念式典並びに、婦人会による敬老会が、村内の四会場で盛大に挙行されました。午前十一時受付開始、八十歳以上の方々に敬老年金の支給、十一時より来賓多数の方をお迎えしての式典では、村長武辞の後米寿者十名、九十歳以上十名、六十五歳になった方々に記念品の贈呈が行われ、村議会議長、村社協会長、村連婦人会長それぞれから祝辞があり、厳粛の内に閉式いたしました。午後は、婦人会によ



る敬老会が行われ演芸、カラオケ、余興が続出し、ご老人のご満悦の様子に改めて婦人会の方々に感謝し敬服いたしました。なお、河辺村最高齢者の佐伯キク氏には、満百一歳を記念して、愛媛県と河辺村から記念品があり、村長が

住居を訪問し心からお喜び申し上げると共に記念品の贈呈が行われました。

納めていますか 国民年金保険料

人生八十年時代です。ますます老後の生活が長くなり、しっかりとした老後への備えが必要となります。

国民年金には、六十五歳から受ける老齢基礎年金のほかに、病気やけがなどで障害者になったときに受ける障害基礎年金や、死亡したときに遺族が受ける遺族基礎年金があります。

ただし、保険料を納めていることが、これらの年金を受ける条件です。

健康だより

平成二年度の村の検診事業もみなさんの御協力により無事終わることができました。

成人病検診の状況をふりかえってみると、まず検診場所別の受診状況では、用の山・名場連・百合谷・川崎地区で昨年よりも、三〜五名受診者が増加しました。全体的にみて受診者数、受診率ともほぼ横ばいといったところです。

検診結果の指示別状況をみると、まったく異常なしと言われた人は全体の二十五%

しかなく、受診者が高齢になるほど、この数は少なくなっています。健康でいるということがいかにむづかしいかわかります。

血圧の状況では、七十九名の人が高血圧という診断を受けました。血圧は常に変動があります。特に検診会場で血圧を測ると、みなさん緊張するの少し高くなる傾向にあるようです。そのため、時々血圧を測ってみて、普段の自分の血圧がどれくらいかを、知っておくようにしてほしいものです。

この七十四名のうち、男性は二十四名、女性が五十名と倍でした。女性の間食、さとうの摂りすぎに問題がありそうです。今年は検診後の健康相談で、用の山から名場連までの四カ所で診療所の重川医師に、成人病の予防について講演していただきました。そのお話の中に、成人病にかからないようにするためには、生活習慣を改めなければならないという内容のお話がありました。成人病は長い間の悪い生活習慣の積み重ねによつておこります。年に一回の検診が、みなさん方の生活をみなおすよいきっかけになれば幸いです。

成人病検診の受診状況

地区	用の山	神 納	竹の瀬	名場連	川 上	百合谷
対象者数	103	80	117	112	69	65
受診者数	48	36	42	42	23	29
受診率(%)	46.6	45.0	35.9	37.5	33.3	44.6

地区	川 崎	三久保	植 松	大 成	全 体
対象者数	120	83	175	101	1,025
受診者数	48	36	52	35	391
受診率(%)	40.0	43.3	29.7	34.7	38.2

指示区分別の頻度

区 分	要 医 療	要 指 導	異常なし
人 数(人)	138	156	96
率 (%)	35.4	40.0	24.6

高 血 圧 の 状 況

区 分	高 血 圧	境界高血圧	正 常
人 数	79	155	156

肥 満 度 の 状 況

区 分	や (肥満度-10%↓)	ふ (肥満度-9%~+20%)	ふとりすぎ (肥満度+20%↑)
人 数	41	275	74



～ おじいちゃん・おばあちゃんまたきてね ～

盛大に 「敬老参観日」

河辺幼・小学校

去る九月二十六日に「お年寄りに感謝し、いつまでも長生きしてください。」と敬老参観日が開かれ、百十数名の方々が早朝よりご来校されました。新校舎自由参観、授業参観、敬老集会、給食試食会（PTA 保健部共催）等の行事が開かれ、園児、児童を含め約二百四十名が集い、楽しいひとときを過ごしました。

「学校へきてよかった。楽しかった。『このような機会をまた作ってもらいたい。』とのご意見が多く寄せられ、子供たちとの二回目の交流会が計画、実施される予定です。

自衛官募集

自衛隊では陸上、海上、航空の自衛官を募集しています。

応募資格は、十八歳～二十七歳未満。身分は特別職国家公務員。給与は初任給月額一、〇〇〇円。勤め、勤勉手当（年三回合計五・一カ月分）の他各種手当が職務や勤務条件によって支給。食事、宿舍費が無料の他、被服等もすべて支給または貸与されます。詳しいことは、河辺村役場総務課、自衛隊愛媛地方連絡部大洲募集事務所（Tel 二四一四一二三）へお問い合わせ下さい。

同和教育シリーズ (35)

ジンケン（人絹）はヒラヒラの薄い生地で、洗うとビリビリと破れたものだ。最近盛んに使われている「人権」は、その安っぽさで共通している点がある。人権ではないだろうか。

他人とイザコザがあったり、自分に不利益が生じたりすると「人権をどうしてくれる。」と噛みつく。しか

短

独居君の入院久し置き去りの
小居の單車に夏草絡む

夕暮れを唄いつつゆく童らの
声にはずみて米研ぐわれも

冬飼いの牧草あつめて日曜日
家族揃いてサイロ作りぬ

牛つなぐ牛舎の庭に何処よりか
風のまにまに木犀薫る

梅雨晴れ間母を相手にそら豆の
皮剥ぐ音の今日ははずみて

雲海ゆ赤黒き山肌突き出でし
富士を真下に飛行機は飛ぶ

歌

戸田 薫明

久保ミヤ子

清水 菊江

清水 孝

稲森 茂子

佐伯 範男

し、「人権とは何ぞや。」と問われて「当たり前のこと」を聞くな、生きていく権利に決まっている。」と答える人が圧倒的に多い。だが肝心なことが抜けている。人権とは、「人間として」生きていく権利があるということなのである。

人権の主張も人権の本質から、かけ離れないようにしたい。ある家の玄関横にゴミ袋を投げ捨てていった若い女性に、「あなたなの、

いつもゴミを捨てているのは。人権侵害で警察に訴えてやる。」警察云々は愛敬としても、とにかく都会はひどい。田舎なら顔見知りというだけでなく、心にゆとりがあり、他人のことを人権侵害などとガミガミ攻撃しない。

人権々という前に、他人を思いやり、自己主張にブレーキをかけられる優しさがほしいものである。
(河辺村同和教育協議会)

消息

〔自平成・2・7・11
至平成・2・10・10〕

☆お誕生おめでとう

下大成 往見香奈 父康範

☆末ながくお幸せに

〔渡邊 猛夫 〈中 居〉
林 萬理子 〈野村町〉
吉田 清徳 〈川 上〉
池上 鈴子 〈大洲市〉〕

☆おくやみ申し上げます

天神 山本藏三郎 66歳

編集後記

秋風に乗せて館報第八十九号をおとどけます。

今年度発行の館報も残すところあと一つ（一月末予定）となりました。掲載してはというものがありませんたら、公民館までご連絡ください。

最近、朝夕めつきり寒くなり、上着一枚では頼りなくなりました。栗の収穫も終わりました。稲の脱穀の光景を目にするようになりまし。もう少しで山の木々も色づき、紅葉一色になることでしょう。